

推進部会名	果樹
新技術・情報名	ナシの被覆環境下における品種別の生育反応
実施場所	三重県農業技術センター 園芸部
分類	※ ②

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

同一被覆環境下におけるニホンナシ主要品種の生育反応を明らかにし、安定的なナシの作型設定を行う資料とする。

(1). 枝葉の発育・・・被覆栽培(加温ハウスも含む)の発芽と伸長停止は露地より早く、新梢の長さは全般に長くなるが、簡易被覆では品種により短いこともある。葉数(節数)は露地より少なく、最終の節間長は長くなり、枝葉は徒長気味に生育する。

(2). 結実性・・・開花中に人工受粉を2回実施しても結果率は露地より低くなり、特に幸水の連年被覆での他下率が大きい(6年連年被覆は33%低い)ので人工受粉や開花中の温度管理(最高30℃)を徹底すべきである。

(3). 果実肥大と果実品質・・・果実肥大は3タイプ(収穫期が近づくにつれ差が広がるもの、縮まるもの、そのままのもの)に大別される。被覆の果実品質は、果実が臍高が大きくなるが、糖度が低くなり果肉も柔らかくなる傾向がある。

(4). 収穫時期・・・簡易被覆による熟期促進効果は、君塚早生で7日、新水で16日、幸水で8日、豊水で14日、菊水で13日、長十郎で4日前後である。開花からの各品種の成熟日数は被覆が長くかかるが、豊水と菊水は露地とかわらない。

2) 技術・情報の適用効果

(1). 被覆環境下では、特に幸水の結果率が低下するので、開花中の温度管理と人工受粉を徹底することにより生産の安定化を図ることができる。

(2). 主要品種の被覆による熟期促進効果が判明したので、ナシ経営の品種構成を考える資料とし収穫と出荷労力の分散を図れる。

3) 適用範囲

ニホンナシの被覆栽培地。

4) 普及指導上の留意点

適正着果、適正管理の徹底が望まれる。

2. 具体的データ

表1 節間長

	(cm)				
	新水	幸水	豊水	君塚菊水	
大面加温	3.5	3.5	3.7	-	-
圃露地	2.6	3.0	3.6	-	-
高山圃被覆	3.7	3.6	4.0	3.7	3.1
圃露地	3.1	3.0	3.3	3.1	2.5
場内圃被覆	3.0	3.6	3.6	-	-
露地	3.1	3.4	3.6	-	-

表2. 結果率(場内)

品種	被覆	調製果数	結果数	結果率
新水	被	315個	237個	75.2%
	露	302	241	79.8%
幸水	被・6年目	472	136	28.8%
	被・1年目	283	135	47.7%
豊水	被	398	246	61.8%
	露	330	177	53.6%
長十郎	被	323	206	63.8%
	露	270	196	72.6%
君塚	被	116	111	95.7%
	露	-	-	-

表3. 簡易被覆栽培の品種別果実品質(高山圃) (1樹15果平均値)

品種	被覆	満開日	収穫日	1果平均果数	果色	硬度(kg)	糖度(%)	pH	軸長
君塚早生	被	3/30	7/19	408	1.25	3.0	6.3	10.7%	5.0
新水	被	4.2	7.19	357	1.17	3.6	2.9	12.3	4.6
幸水	被	4.1	7.29	395	1.17	2.6	4.5	13.4	5.4
豊水	被	3.30	8.17	320	1.11	3.4	7.2	12.8	4.8
菊水	被	3.30	8.17	444	1.15	5.0	2.7	12.6	4.9
長十郎	被	4.14	8.27	292	1.18	3.7	7.9	13.3	4.9
露地	露	4.15	8.27	366	1.16	3.9	3.9	13.2	4.8
露地	露	4.15	8.27	320	1.21	4.8	4.2	13.1	4.8

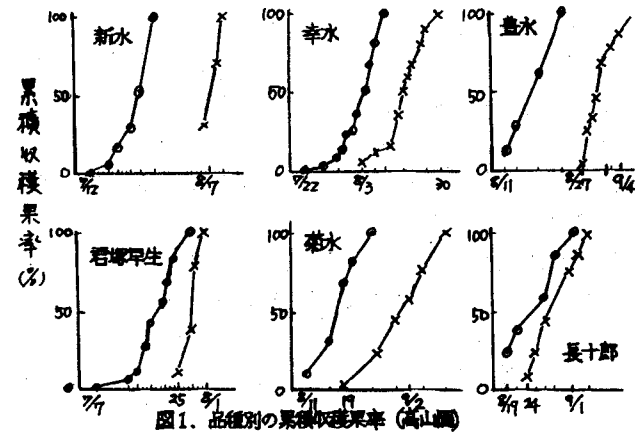


図1. 品種別の累積収穫率(高山圃)

3. その他特記事項

「ナシの簡易被覆と植調剤利用による熟期促進技術の確立」昭.60年総合助成